

豪雨災害にかかる災害復旧事業費

約1億9千万円など補正予算を可決

今回の補正は、歳入歳出予算を3億2千544万2千円増額し、予算総額を138億5千511万7千円とするものです。

○25年度一般会計補正予算

(第3号)の内容

- 総務費 24年度国県負担金などの返還金3千402万8千円
- 民生費 障害者自立支援給付費6千709万2千円、障害者自立支援医療給付費3千万円、地域生活支援給付費365万円、子ども・子育て支援システム導入業務委託料1千13万円、障害児童発達支援給付費1千354万9千円、幼稚園預かり保育支援事業補助金648万3千円、生活保護費扶助費4千520万円
- 労働費 緊急雇用創出事業費54万6千円
- 農林水産業費 農地集積協力金事業補助金130万円
- 土木費 生活関連道路の路面等の損傷が著しい路線の整備に要する経費6千400万円
- 災害復旧費 災害復旧事業費1億9千538万3千円

人事案件

12月2日の本会議において、次の方を選任することに同意しました。

◎大川市公平委員会委員

辻 多久雄 (三又)



豪雨災害により被災した道路 (酒見地区)

○25年度国民健康保険事業

特別会計補正予算

○24年度療養給付費等負担金及び特定健康診査等負担金の精算に伴う返還金 4千372万円

○職員の給与改定等に伴う

人件費の減額補正

東日本大震災を契機として国家公務員の給与が減額されたことから、国からの要請に基づき、本市職員等の給与が25年7月から26年3月末まで減額されています。

これに伴い、市三役の給料月額も減額されており、減額の総額は三役と職員の総計で約6千500万円です。

議員定数削減

議案は否決

議員提案議案として、大川市議会議員の定数を現行の17名から3名削減して、14名とする、議案第70号「大川市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定」について上程されましたが、反対討論1名、賛成討論2名の審議を経て、採決の結果、賛成者少数(賛成者6名)で否決されました。

反対討論

これ以上議員定数を削減すれば、結果的に若い人の議会参加の機会を狭めることになってしまふ。「死に票」が増えてしまふ。一般会計に占める議会費の割合は僅かであり、費用対効果を考慮しても、現行の定員が妥当である。

賛成討論

市の財政負担を軽減することは、地方議員の重要な役割の一つであることから、議員自ら保身を捨てて議員削減を行うべきである。

また、各会計間の異動等も加え、人件費の調整額は次のとおりです。

- 一般会計 1億1千595万2千円減額
- 国民健康保険事業特別会計 514万4千円減額
- 後期高齢者医療事業特別会計 140万4千円減額
- 介護保険事業特別会計 1千536万1千円減額
- 下水道事業特別会計 568万6千円減額
- 上水道事業会計 577万8千円減額